

木内 さくら (きうち さくら : KIUCHI Sakura)

幼児教育学科

【職 名】 講師

【最終学歴】 同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻 修士課程修了

【学 位】 修士(社会福祉学)

【専門分野】 社会福祉学、子ども家庭福祉論、ソーシャルワーク論

【担当科目】 社会福祉、人権といのち、保育実習指導Ⅰ(施設)、保育実習指導Ⅲ、社会的養護の実際

【所属学会】 社会福祉学会、日本子ども家庭福祉学会、日本児童虐待防止学会、養子と里親を考える会

【研究課題】 社会的養護における里親ソーシャルワーク・フォスタリング機関の役割と里親子支援に関する具体的実践方法の検討

【主な教育研究及び社会的活動】

(1) 論文:

- ・児童相談所における里親支援の実態とその支援が里親委託率へ与える影響、共著、子どもの虐待とネグレクト 20 (1), pp.85-92 (2018.5)
- ・代替養育におけるアタッチメント理論の適用-研究の動向と今後の里親養育支援への示唆、筆頭著者、同志社大学大学院社会福祉学論集、(2023.3)
- ・児童養護施設を対象とした第三者評価による養育の質の評価、筆頭著者、評論・社会科学、(146) pp.127-143 (2023.9)

(2) 研究ノート:

- ・乳児院における里親支援専門相談員の活動、単著、同志社社会福祉学 (28) pp.122-128 (2014.12)
- ・乳児院職員としての里親ソーシャルワーク、単著、ソーシャルワーク学会誌 32 (0)、pp.25-28(2016.11)

(3) 学会発表:

- ・乳児院における里親支援専門相談員の役割、単独、日本児童養護実践学会、大阪(2016.2)
- ・Current situation and issues of social care in Japan, 共同, University of Colorado Kemp Center International Virtual Conference (2022.10)
- ・第三者評価基準の改定の動向-子どもの権利擁護の視点に着目して、単独、社会政策学会、愛知(2022. 10)

(4) 教育方法の実践例:「人権といのち」ではオンデマンド授業を実施。一般教養科目として、専門分野以外の内容となるため、繰り返し学習できるように動画を公開し、毎回の課題とアンケートの実施によってオンデマンドでも双方向型の授業となるよう工夫している。学問的な人権に加え、身近な問題として意識できるよう幅広い内容となっている。

(5) 社会的活動:

- ・里親登録法定研修講師、大阪水上隣保館里親支援機関(2019～現在)
- ・子育て支援者養成講座における外部講師、大阪水上隣保館子育て支援広場(2022～現在)

【その他特記事項】

(1) 学内活動:実習指導委員(2024～)、図書館委員(2024～)

(2) 資格:社会福祉士、保育士、高校教諭免許(公民、福祉)